



並木中等story

令和4年4月27日号

ぽつんという時間

今日も心理学者の久能先生、末武先生、保坂先生、諸富先生が書かれた『ロジャーズ



を読む』（岩崎学術出版社）からの話題です。本の中に次のような記述があります。

「人間が変化するのは、分かりやすくいうと、〈一人ぽつんというとき〉である。

人間は一人ぽつんというときに飛躍したり成長したりしていく。その飛躍や成長を確かめてゆくのが人間のつながり、具体の世界であるけれど、その現実の世界、現実の人間関係において成長がおこるのではない、と思うんです。」皆さんはどう思いますか。

私は、あるお坊さんが「**一人の時間も大切にしなさい。**」と話されたのを覚えています。自らの頭の整理をしたり考えを深めたりする時間を持ちなさいということだと思います。体験・経験をして、一人で考える。そしてまた、体験・経験をして、一人で考える。言い方を変えると、**“ぽつんと一人でいる時間”も成長の上で大切なんだと思います。**

《祝！文部科学省教育課程研究実践協力校指定》

文部科学省から連絡があり、本校が本年度、物理及び科学の科目で教育課程研究実践協力校に指定を受けました。昨年度、一昨年度の地理の指定に続き、3年連続となります。本校では新学習指導要領の観点別評価について研究を深めてまいります。